

水稲育苗中に発生する病害等の対策

資材消毒剤

イチバン

水稲育苗箱の殺菌・消毒に!!

瞬間技 × 消毒



浸す、引き上げる、終了。乾燥の手間も必要なく、^{※1}瞬時に水稲育苗箱を消毒します。

※1 水稲育苗箱に限る

資材消毒剤 **イチバンの3つの特長**

01 Point



広い抗菌スペクトラムで
菌から作物を守る。

広い抗菌スペクトラムを持ち、特にリゾープス菌に優れた効果を示します。

02 Point



瞬時浸漬・ジョロ散布で
水稲育苗箱消毒が可能。

水稲育苗箱に使用する際は、水洗・乾燥の必要がなく直ちに次の作業に移れます。

03 Point



大半の材質が
消毒可能。^{※2}

様々な農業資材に使用できて、樹脂・木材・金属など大半の材質が消毒ができます。

※2 使用上の注意を参照



OAT アグリオ株式会社



適用と使用方法

適用	農業資材
対象	<ul style="list-style-type: none"> 育苗箱(木箱、プラスチック箱) 育苗用ポット・支柱等資材 ※収穫用コンテナ・かごを除く
希釈倍数	500～1000(倍)
使用方法	瞬時浸漬またはジョロ散布

水稻育苗箱の効果的な消毒法

01 希釈液調整

02 さっと浸漬・ジョロ散布

03 次の作業へ

取扱注意

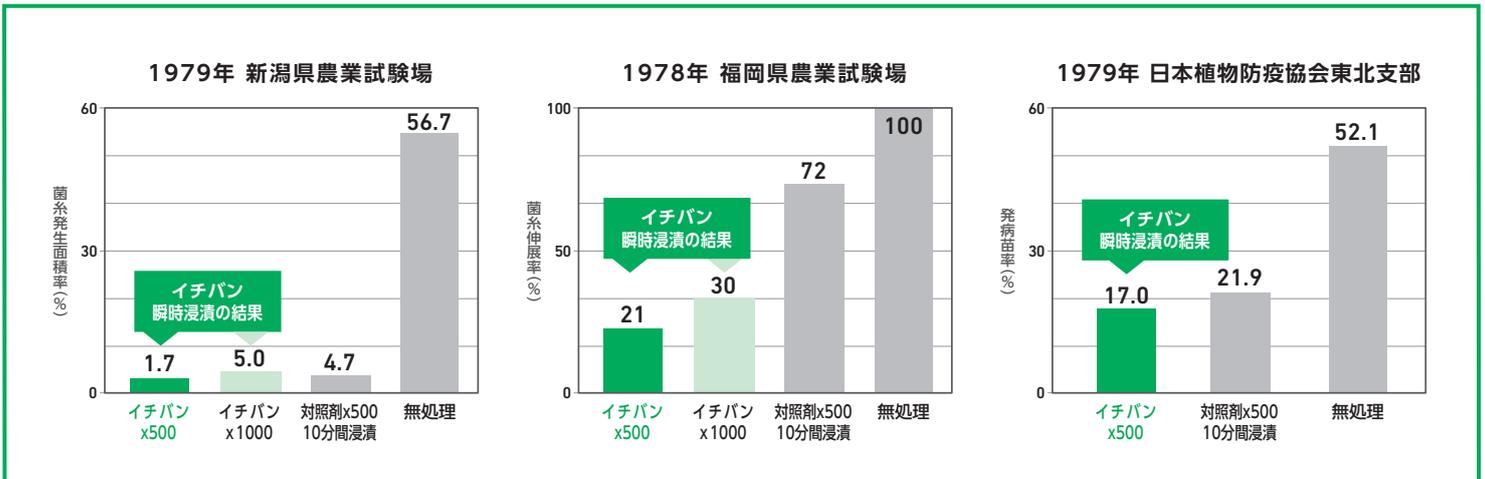
残液の処理方法

- 残液100ℓ当たり消石灰をスコップ1杯分(約3kg)投入し、数日間直射日光にさらし、有効成分の分解を待って危険のない場所で、安全に処理してください。
- 廃液が養魚池、河川等に入らないよう十分注意してください。

育苗用ポット・支柱等資材の効果的な消毒法

さっと浸漬・ジョロ散布後に風乾してご使用ください。

試験成績・消毒効果(リゾープス菌)



⚠ 使用上の注意

- 500倍以上の希釈倍数で使用してください。また、長時間の浸漬はさけてください。
- 作物への直接散布、培土や床土への灌注は行わないでください。
- 収穫物に触れるような収穫用コンテナやかごには使用しないでください。
- 接木用クリップの消毒には使用しないでください。
- 軟質塩化ビニル、ポリスチレンおよび発泡スチロール製の容器などには材質が劣化するおそれがあるので使用しないでください。
- 散布液の飛散により自動車等の塗装に影響を与えるおそれがあるのでかからないように注意してください。
- 作業に際しては保護眼鏡、農業用マスク、不浸透性手袋、長靴などを着用してください。作業後は手足、顔などの皮ふの露出部を石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう十分に注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。
- 皮ふに原液が直接ふれた場合は直ちに石けん及び多量の水で十分に洗い落とすしてください。
- 誤飲などないように注意してください。万一誤飲の際は吐き出さず、直ちに水又は牛乳で口内をすすぎ、胃の内容物を薄めるため、水又は牛乳を飲ませ、安静にして直ちに医師の手当てを受けさせてください。

- 使用中に身体に異常を感じた場合には、直ちに医師の手当てを受けてください。
- 水産動植物に強い影響があります。河川、湖沼、海域、養殖池に飛散・流入するおそれのある場所では使用しないでください。
- 散布器具・容器の洗浄水は河川などに流さず、周囲に影響のない地点を選び、土壌表面に散布などの処理をしてください。
- 残液を捨てる場合は、必ず以下の処置を行ってください。
 - 残液100ℓ当り消石灰をスコップ1杯分(3kg)投入し数日間直射日光にさらし、有効成分の分解を待って危険のない場所で、安全に処理してください。
 - ※廃液が養魚池、河川等に入らないよう十分注意してください。
- 危険物第四類第二石油類に属するので火気には十分注意してください。

⚠ 貯蔵上の注意

- 火気を避け、食品と区別して、直射日光が当たらない低温で子供の届かない場所に密栓して保管してください。

●ラベルをよくお読みください。 ●記載以外の目的には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。 ●空容器は圃場などに放置せず適切に処理してください。